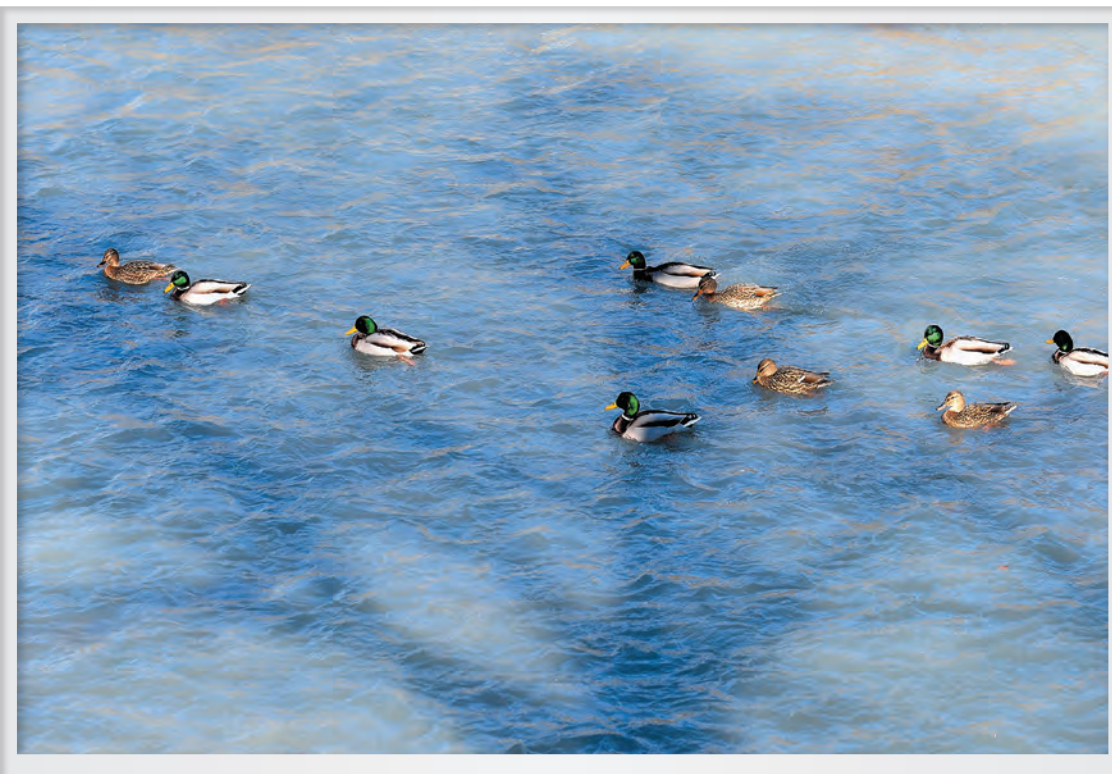




コミュニティ だより

あけぼの

平成 26 年 3 月 1 日現在	
人口	15,452人
男	7,671人
女	7,781人
世帯数	5,453戸



旅の疲れは癒えたのか、列を成すマガモの群れ



すすきの原にねぐらを探す雀の群れ

〽六合の水辺（大津谷川）〽

野鳥、冬を告げる

西に傾く日差しに追われるように隊列を組み泳ぐマガモ。長い渡りの疲れは癒えたのだろうか。波立つ水面に、葉をすっかり落とした桜の老木が影を落としています。

今晩の寒さはどうなのか。日の光を受けて赤く染まる枯れすすきの原に、宿を求めてせわしく飛び回り鳴き交わす雀たち。背後の水面の色は時を追ってその色を深めていきます。

大津谷川の初冬の水辺に練り広げられる野鳥達の姿に「本格的な寒さが近いぞ」と声を掛けずにはいられます。この川の水辺は、六合の四季の移ろいの美しさを私達に伝えてくれます。

六合文化祭開催!

揃う芸術・文化



展示部門

一〇月二六日午後一時から二五年度の「六合文化祭」が華々しく開催されました。展示部門は二六、二七の両日、六合公民館（ロクテイ）及び六合小体育館にて、保・幼・小の園児、児童の作品、各種団体、クラブ、個人の作品が会場に所狭しと展示され、訪れた人々がひとつ一つの作品に目を凝らし鑑賞していきます。大きく南に開かれた窓からは秋の日差しが差し込み、鑑賞する人々や出展者を柔らかく包み込み、華やかで誇らしげな時間がゆっくり流れていく素敵な時を演出してくれます。

第一集会室の一角で、六合

☆☆☆

市民学級で一閑張に取組んでいるという「生徒」さんが「籠に和紙を張り柿渋を塗るんですよ。柿渋の塗り方で風合いが変わるし、日が過ぎると色が深くなっていき、その変化がとても楽しい」と語ってくれました。

ロクテイ多目的ホールの南側には山野草の鉢が、小さな花をつけたり、すつきりと枝や葉を伸ばして、それぞれが楚々としたたずまいで並んでいます。

山野草の会の会長さんは「それらは皆、たんぼや畔、野原



に自生し、雑草として刈り取られてしまうもの。その一株を鉢に取り丹精するとこんなに立派な鉢ものに育つ」と語ります。

教えていただいたのは「野紺菊」。切り花の華麗さはないものの落ち着いた雰囲気は印象的でした。

すべての作品から出展した皆さんの情熱と作品の持つ力強さが伝わってきて、心が安らぐ不思議な感覚に包まれます。

☆☆☆

鑑賞に疲れたら、児童のお手前による抹茶を味わったり、あけぼの健康グループによる喫茶コーナーで、素敵な風景写真を鑑賞しながらケーキやコーヒーでおしゃべりを楽しんだりします。



また、恒例のスタンプラリーやお楽しみ抽選会と盛りだくさんの内容で時間があっという間に過ぎていきました。作品を出展された皆さん、会場の設営、運営された皆さん、本当にありがとうございます。

平成25年度

秋空高く、咲き



芸能発表部門

一〇月二七日は、六合小学校体育館において六合地区一五団体による「芸能発表会」が開催されました。幼稚園、保育園から小学校・中学校、若者からシニア世代まで、大正琴の演奏やリズム体操、日舞やブラスバンドと実に幅広く、多彩な演目で大きな盛り上がりを作り出しました。

芸能発表会は「やよい琴の会」の大正琴の演奏で幕が開き、六合小大正琴クラブ、島田フレンドリーハーブスへと大正琴の演奏が続きます。弦の穏やかな調べの後は一転して金管の迫力ある音色がブラスパティナーから届けられ、会場いっぱいに響き渡ります。そして高揚した気分を鎮めるようなマザーワートによるリードのアンサンブルへ。

会場が一段とヒートアップしたのは園児達の一生けん命な演技ではなかったでしょうか。六合第一保育園の「リズム体操」同第二保育園の「太鼓の演技」

六合幼稚園の「リズム表現」たけのこ保育園の「びゅんびゅんこまとリズム」と続き、詰めかけた父兄達は身を乗り出し、声を掛けながらスマホやデジカメを一齐に構えます。それに応えるように園児達の演技も熱が入ります。

☆☆☆

続く舞台では「はつらつ3B体操」「リズム体操」とシニアが、揃いのコスチュームで日頃の練習の成果を遺憾なく披露すると、負けれないとはかりに



体育館後方壁面には二六日から園児、児童達の図画や工作の作品が一面に展示されていて体育館を訪れた人々が、展示もパフォーマンスも鑑賞できる欲張

☆☆☆

三時間に及んだ芸能発表会ですが、参加団体個々には長くても一五分程の演奏時間でした。それだけに、集中して日頃の成果を発揮した素晴らしいステージでした。



ダンススクール「シャイニーアイズ」が子供らしいはつらつとしたダンスパフォーマンスを繰り広げます。高ぶった気分を静めるように「若衆会」の日舞「正親流正粹館」の剣詩舞。ピンと伸びた背筋、指先まで注意がはらわれた所作が会場に緊張をもたらします。

そしてフィナーレは六合中ブラスバンド演奏。今年日本中を席卷した「あまちゃんオーブニングテーマ」でスタート。最後の瞬間まで会場を盛り上げました。



りで楽しめる工夫がこらされていきました。

また、二七日は、JR主催のウォーキング大会があり六合公民館を休憩地に設定して実施されていて、参加者が文化祭の展示や芸能発表を楽しまれた為、大変な数の入場者となりました。

二十六、二十七日とも秋の好転に恵まれ、六合の「文化」を充分に堪能することが出来ました。これからも期待します。



輝く銀鱗、はじける笑顔！

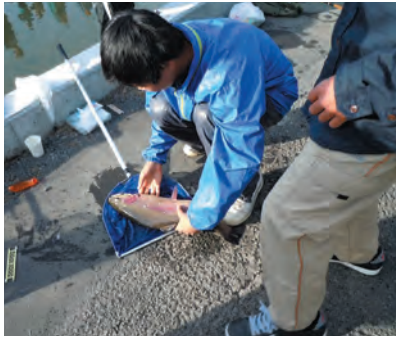
親子マス釣り大会

盛況、

一月二四日(日)、初冬の快晴の朝八時半から、阿知ヶ谷町内会、交通安全部、生活安全部、あけぼの健康グループ、公民館の協力を得て、レクレーション部主催の「親子マス釣り大会」が開催されました。レクレーション部が前日より設営に取組んだ阿知ヶ谷天神社前の特設の釣りが放流されました。



開会挨拶、注意事項に続き開始が宣言されると、待ちかねた親子の、太公望、二五〇名余りが一斉に竿を繰り出します。次々に掛かるマスの強い引きに至る所で歓声があがります。大盛況の余り、ついには釣り糸がお隣さんと絡んでしまうハプニングも：一〇時半からは幼児、小学生のマスのつかみ取りに場面が転換。子供達が素早く泳ぎ回るマスを追って水しぶきを上げながらの大奮闘です。七〇cmはあろうかという大物をすくいあげた道悦からお父さんと参加した六合小三年の石川愛斗君は「タモを入れたら飛び込んで来た。こんなの初めて、ラッキー」と大興奮です。



またこの日、天神社の境内では、あけぼの健康グループ、レクレーション部により五平餅、豚汁、甘酒、綿菓子等もふるまわれ、こちらも大盛況。マスと格闘し、冷たい水に触れ、少し疲れた体に温かい甘酒や豚汁に子供達には大満足。「マス釣り大会」になりました。



六合小PTA祭り



一月九日(土)、六合小体育館、駐車場を会場にした恒例の「六合小PTA祭り」が開催されました。体育館での開会式に引き続き、ステージではダンススクール「シャイニーアイズ」、六合ジュニアバレーボールクラブ、清水エスパルスオレンジウエーブガールズ、岸町子供会ソフボール部」の元氣一杯の演技が披露されました。ステージ発表に引き続き、体育館と駐車場で各種模擬店、日用品バザー、家具販売などのイベントが開かれ、それぞれのブースには長蛇の列が出来、会場は児童、父兄の明るい声に包まれていました。



わくわくドキドキ、六合東小祭り



一月一〇日(日)、七月から準備を重ね、心配された天気もクリアして東小祭りが開催されました。チョコバナナ、焼きそば、フランクフルト、お餅、炊き込みご飯、からあげ、うどんなど色々な模擬店、福引やゲームコーナーには子供達の長い列ができました。そして、アトラクションには少年五郎太鼓、ミュージックグループ、ポイントメイク講座など盛りだくさんの内容です。今年もお父さん、お母さんのパワーを感じさせる素敵な東小祭りになりました。



体感、新スポーツ “ビーチボール”

楽しいラリーの連続

一月一日（金）夜七時から体育振興部主催による新スポーツ「ビーチボール講習会」が開催されました。体育振興部、講師、一般参加者を含め三六名が参加し、講師陣の指導を受けた後、早速ゲーム形式の練習に取り組みました。



ビーチボールは昭和五三年、富山県朝日町教育委員会と体育指導委員会が考案され、全国に普及が図られている柔らかいビーチボールを使ったバレーボール形式の新しいボールゲームです。ビーチボールは、ソフトバレーのボールより小さく柔らかい素材の為、突き指の心配もなく、打ったボールのスピードが比較的遅い割に変化が大きく、意外性に富みボールをどこまでも追いかけるの

で、やってみると想像以上に運動量の多いスポーツです。練習に参加した六合小三年

の望月君は「大人のひとやるのは心配だったけど楽しくできた」また、阿知ヶ谷から参加したシニアの鈴木さんは「突き指しないし、誰でもできて良い。定期的にやってみよう」と語っていました。

誰でも楽しく出来る新スポーツ、ビーチボールの普及が進む事を願います。

「ビーチボール豆知識」

- バトミントンのコートとネットを使用
- ネットの高さは一メートル八〇センチ
- 一セット九点先取の三セットマッチ。得点はラリーポイント制で一人チーム四人
- ボールの大きさは二七センチ、重さは七〇グラムでビニール製
- プレーをする時、足を使うのは原則

有終、インディアカ大会

II 続けよう、スポーツ交流の輪 II

二月二日（日）にコミュニティ主催のインディアカ大会が行われました。五一名一チームに分かれ、リーグ戦を行いました。コミュニティ主催の大会として二〇年以上続いてきましたが、今回で最後の大会となることから参加者も一層熱が入ったようです。リーグ戦の結果「ホップステップジャンプ（岸町）」チームが「道悦オリーブ」を降して優勝しました。



ある女性参加者は（コミュニティ主催の大会が今回で最後になることについて）「終わってしまうのは残念。これだけの人が集まっているのだから、六合地区の交流の場としても続けて欲しい」とコミュニティでの大会終了を惜しんでいました。また別の参加者は「いつもやっているように楽しく出来た」「生涯スポーツとして楽しく長くやっていきたい」と抱負を語っていました



地域の中でよりよく生きる

「在宅高齢者宅訪問活動について」

団塊の世代が高齢者世代の年齢に達し、いよいよ高齢化社会化は待たなして進んでいます。六合地区では現在高齢者の一人世帯は一四四、日常生活で起居に不自由を来たし床に就いて生活されている方は三三名にのぼります。こうした中、健康福祉部がこれらの方々に親しく接する訪問活動に取組みました。この訪問について振り返って頂きました。

歳末高齢者訪問事業を終えて

健康福祉部 富澤 富二雄

恒例行事ではありますが、部会では「福祉」とは何だろうかという原点に立ち返って、話し合いをしました。「福祉」という言葉は幸せを意味し、その英文である welfare は「よりよく生きる」という意味だそうです。当初高齢者慰問という事業名でしたが、「慰問」とは昔の恩恵的な言葉です。そこで今回私達は訪問事業と呼ぶことになりました。

実際の訪問は、民生委員の皆さんに案内していただいで行い

ました。民生委員の方々は、「この時間ならいるはずだ」「自転車がないから犬の散歩だな」などと実にひとり一人の状況を知っていて、驚かされました。また一人暮らしのお年寄りも、元気に自営の仕事をされていたり、ランドゴルフを楽しんだり大変いきいきと生活されていて、こちらが元気をもらったような気持ち良さが残りました。訪問した私達も、訪問されたお年寄りもちよっぴりハッピーな気持ちになれたようでした。

天満天神社 秋の祭典

すがわらのみちやね・こしろうめしのみこと
菅原道真・事代主命を祭神とする阿知ヶ谷天満天神社の秋の例祭が一〇月二六日（土）行われました。

当日はあいにくの雨となり、子供みこしなどが中止となりましたが、多くの行事が阿知ヶ谷



公会堂に会場を移して取り行われました。

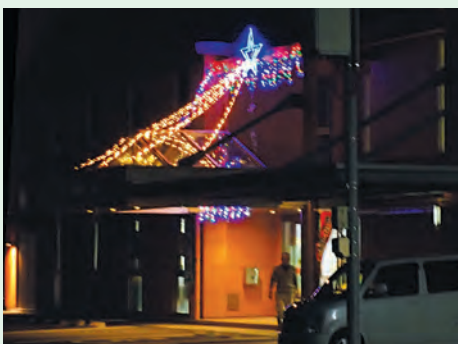
多くのファンがいる大衆演劇も今年は「銀鈴座」の芝居と舞踊ショウが行われ、雨の中「村芝居」の楽しいひと時を過ごしました。



輝くイルミネーション

一二月に入って、昨年引き続き公民館玄関にイルミネーションが飾り付けられました。

今年は玄関入口にも新たなデコレーションがセットされてボリュームを増しました。冬の早い闇の訪れに、夜目にもくつきりと公民館のアプローチを照らしており、夜間に公民館を訪れる方々の気持ちを温めてくれているようです。



元気★はつらつ、いきいきクラブ大会

「歌にダンスに益々盛ん」

一月一日、雨模様の肌寒い中、コミュニティ老人部による「いきいきクラブ大会」が開催されました。「いきいきクラブ」は六合各地域において七五歳以上の高齢者が、健全な趣味の活動を通じて健康な生活を維持することを目的とした自主的なクラブで「延寿会」「寿会」「喜楽会」「永寿会」「コスモス」の五つのクラブがあります。この日は各クラブから総勢一五〇名が参加し、午前の表彰式、講演、午後のアトラクションまで終日盛大に行われました。

【表彰式】
コミュニティ委員会老人部の池田部長の挨拶に続いて、いきいきクラブ「延寿会」で一〇年にわたって役員をつとめられた堤坂一雄さん、山田鉄男さんと五年にわたって役員を務められている六名の方への表彰が行われました。七五歳を過ぎてから五年、一〇年の長きにわたって



【講演】

表彰式に続いて、島田市レクリエーション協会事務局長の青野宏子さんの「笑って動いて楽々体操」と題した講演があり、参加者が実際に身体を動かしながら楽しく体操に挑戦。



【アトラクション】
午後のハイライトは歌や踊り、ダンスのアトラクション。日頃の練習の成果を發揮し、舞台いっぱいにはパフォーマンスが練り広げられ、会場は熱気に包まれました。

健康長寿大国として世界からも注目される日本ですが、これも「いきいきクラブ」に参加する皆さんのような日常的な活動があつたのことに実感しました。今後とも皆さんが仲間を増やして各クラブの活動が一層活発になる事を期待します。



初詣のスケッチ

「大日山の除夜の鐘」

新年を待ちかねた善男善女が百八つの煩惱を取り除く除夜の鐘をかわるがわる撞いていきます。



「東町八幡宮」

早朝五時から氏子や町内役員が、甘酒、おしるこを準備。次々と詰めかける参詣者に熱々を振舞い、新年を祝います。



「道悦八幡宮」

早朝から甘酒とお神酒が振舞われ、初詣の方々と早速新年の挨拶を交わします。



「岸山で迎える初日の出」

ことのほか厳しいこの冬の寒さ。岸山の山頂で初日の出を迎え、新しい年の幸せと健康を祈願します。



友達100人作っちゃおう!

笑顔満開 “にゅーがくいわいのかい”

二月九日(日)、六合小体育館において、この四月六合小、六合東小に入学予定の児童二〇〇人余りを招いて、コミュニティ委員会女性部主催の「入学祝いの会」が父兄を含めて四〇〇人以上の参加で盛大に開催されました。会では藤枝市のボランティアグループ「似顔絵ウフフ」による絵描き歌、交通安全指導員による交通安全教室が行われました。会場はもうすぐ始まる小学校生活への期待をふくらませる子供達の元気な声に包まれました。

昨夜来のみぞれ交じりの雨もあがり、朝から気持ちよく晴れ渡りました。会場を消防治安部が大型の暖房機器四台を稼働して暖め、ステージ前には「ちびまるこちゃん」のキャラクター色紙がズラッと飾られ子供達の入場を迎えました。

「祝いの会」は、女性部長の櫻井淳子さんの「安全に気をつけて成長して欲しい」という挨拶で開幕。

来賓の祝辞の後、似顔絵ウフフのちびまるこちゃんを描き方指導が「大きな栗の樹の下で」の替え歌によって行われました。子供達は、ステージ上のホワイトボードを見ながら絵描き歌に合わせて一生けん命描いていきます。東町から参加の鈴木さんは「子供達が楽しそうで良かった」と笑みを浮かべます。

続いて鳥田市交通安全指導員のおねえさんによる「交通安全〇×クイズ」です。スライドに映し出されるクイズに大きく手をあげて〇を作ったり、×を作ったり。そして最後は「信号の歌」を歌いながら全員で体

操です。

子供達に今日の印象を聞いてみると「交通安全クイズは全問正解」「体育の授業が楽しみ」などと、はきはきと語ります。

二時間に渡った「祝いの会」でしたが、本日の主人公の子供達にとつて四月からの小学校生活への期待が大きいくふくらむ会となりました。



交通安全クイズ 元気に挙手



女性部 櫻井部長の挨拶



「似顔絵ウフフ」の絵描き歌



真剣な表情で絵を描く子供達

編集後記

広報部長の任を賜ってからはや一年。振り返ってみると、デジタルカメラにコミュニティ委員会の行事だけでなく、地域の祭典や防災訓練、学校行事や地域に関わるニュースなど、実に多彩な行事や出来事を取材させて頂きました。

私達は、行事の様子をただ単に伝えるだけでなく、可能なかぎり沢山の参加者へのインタビューを試み、意見や感想を聞き、それを紙面に反映させる努力をしてきましたが、悲しいかな、経験もない即席記者にとつてはかなり荷が重く、皆さんの声を充分にお伝え出来たのかという点では自信がありません。

六合に住み始めてからすでに長い期間がたちますが、今回ほど多方面から六合を見たり接したことは初めての経験でした。学齢前の子供達から小中高生、現役世代から高齢世代まで、それぞれが世の中への関わり方に応じてその生活を反映した多様な地域への関わり方が見えて来たような気がします。

私達の小さな経験が次のチームに引き継がれ、六合コミュニティ委員会の広報紙「あけぼの」が、躍動し、成長する六合の「現在」を伝え続けていって欲しいと願っています。

一年間の御愛読、ありがとうございました。

広報部 松浦直巳